

春がきたことを感じる鳥といえば、ウグイスを思い浮かべるだろう。桜の花とウグイスは極めて日本的な情緒あふれる風景である（実際にはメジロと桜の組み合わせが多い）。その他、私にとって春を感じるというが繁殖期が始まったことを感じさせる鳥はセッカなのである。



右：セッカ（バンディング調査
写真提供・齋藤武馬氏）
左下：セッカの巣

さて、繁殖期以外は何をしているのだろうか。「えっ、冬もいるんですか」という人もいるくらい、冬は存在感がない。冬の水田などで、草の根元でジッとしている個体を見かけることがある。繁殖期にあれだけ忙しかったのだから、冬はなるべくエネルギーを使わないようにしているのだろう

ある日のフィールド・ノートから

セッカ（雪加）

セッカは春からなわばりを確保するため、その独特なスカイダンスを始める。他の鳥がさえずりをしなくなる時期でも、真夏の暑い日、水田の上空を「ヒッヒッヒッ」と鳴きながら上昇し、今度は「ジクジクジク」と鳴きながら降下する姿は実に印象的である。夏の強い日差しを避け一息いれている時、何度となく繰り返すこの光景を見てみると、私は思わず「頑張ってるなあ」と感じ入ってしまう。このスカイダンスは9月中旬まで見られる。他の鳥が繁殖を終えて繁殖地である河原の草がひっそりとしている中、それでもセッカはスカイダンスを繰り返し続けている。この小さな鳥のどこに、春先から秋口までスカイダンスを続ける驚異的なスタミナがあるのだろうか…不思議である。

さて、セッカはこのような目立つスカイダンスの他、もう1つ隠れた能力を持っている。その成果がセッカの巣である。晩秋に草地をかき分けて進んでいると、スキの中程にセッカの巣を見つかることがある。光線の加減によって、銀色に輝くワイングラスのようにも見える美しい巣である（写真では伝わらないのが残念）。セッカは細い嘴を使ってクモ

の卵囊から取り出した糸を、スキの細い葉に巧みに綴り込み、また、白いスキの穂を内壁にはりつける等、内装にも細かな細工を施している。鳥の中でも最も美しい巣を造るグループに入っているのではないだろうか。機会があれば是非探していただきたいと思う。

セッカは、美しく精巧な巣を10日に1個というハイペースで造る腕の良い大工でもある。平均すると約6.5個の巣を1シーズンで造るが、18個の巣を造った強者もいる。単純に考えると、繁殖期のほとんどの日数を巣を造ることに費やしているといえるだろう。四六時中、派手なスカイダンスをしているように見えて、スカイダンスを終えて草むらに飛び込んだ後は、地道に巣造りに没頭しているのだろうか…ずいぶん忙しい鳥である。これは多くの巣を造った雄ほど多くの雌を獲得する傾向があるため、スカイダンス同様、巣造りも必死に頑張っているわけである。

か。とにかく動かない、鳴かない、地味で見つけにくい。そこに夏の活発なイメージはない。セッカの雄は繁殖期にエネルギーの全てを注ぎ、非繁殖期は来るべき繁殖期にそなえ、厳しい冬をただジッとやり過ごしているのだろう。繁殖のために労力を惜しまない。そのことは他の鳥類にも共通していえるが、これほど繁殖活動に全力を傾けている鳥はそういないのではないだろうか、繁殖のためだけに生きている、そんなストイックな面を強く感じさせる鳥である。

4月、セッカの季節が再び始まると、各地の河原や水田でその元気な姿が見られるだろう。ウグイスのさえずりは、年度末の忙しさから解放されたのも手伝って心身ともに癒されるような気がする。しかし、セッカのスカイダンスは忙しい繁殖期の始まりをイメージさせる。鳥の調査では、これから繁殖の確認に忙しい時期が始まるからである。「俺も頑張らなきゃな」とぼんやりとしている頭にせつつかれるように春を感じさせられるのである。

（東京本社自然環境調査室・平川正詩）

ご意見 ご質問
お待ちしております

素朴な疑問やご感想など下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

E-mail :nl-info@chiikan.co.jp

編集後記

この春は桜の開花予想の報道をよく目にしませんでしたか？昨年まで隔週だった気象庁の発表が、今年から週に一度に変更されたそうです。ここ札幌では桜はまだ小さい蕾。今現在、5月1日の開花予想となっています。開花の基準となるのは街の片隅のソメイヨシノです。この樹は例年、今時季から春を待ちきれない情報番組で紹介されるのですが、毎年どこかの番組で行われる「お約束」のやりとりがあります。スタジオのアナウンサー「少しでも開花宣言が早まるように、下でジンギスカンをして暖めてきてください」中継レポーター「…。」昨日、会社帰りに例の樹を訪ねました。周囲の樹よりも心なしか蕾が白く大きいように思えたのは、春の訪れと、お花見という名のジンギスカンが待ち遠しい市民の期待によるものなのかもしれません。（釣谷佳子）

News Letter NO.18 2003年4月

【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚敏

編集中山香代子・伊藤透・鈴木志保子・釣谷佳子・高岡由紀子

東京本社 〒154-0015

東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル

TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701

営業窓口...鈴木志保子・伊藤透・高岡由紀子

大阪支社 〒569-1123

大阪府高槻市芥川町1-15-18 ミナミ芥川ビル

TEL 072-684-3182 / FAX 072-684-3184

営業窓口.....中山香代子

北海道支社 〒001-0017

北海道札幌市北区北17条西5-20-303

サンオービル1F

TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021

営業窓口.....中島正雄